

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

令和6年9月4日

計画の名称	1 北九州市のものづくり産業を支えるアクセス道路の整備			重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)		交付対象	北九州市	
計画の目標					

都市の発展や企業の物流振興を支え、国際競争力のある物流拠点都市の形成に資するアクセス道路の整備を行う。

計画の成果目標 (定量的指標)

恒見朽網線 (6号線) や戸畑枝光線などの整備により、物流・人流を支える広域道路ネットワークを強化する。

定量的指標の定義及び算定式

アクセス道路の所要時間の短縮率

$$\text{所要時間短縮率 (\%)} = (\text{当初の所要時間} - \text{評価時点の所要時間}) / (\text{当初の所要時間}) \times 100$$

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (R2d当初)	中間目標値 (R4d末)	最終目標値 (R6d末)
0%		28%

備考

全体事業費

合計
(A+B+C+D)

13,154 百万円

A

13,154 百万円

B

0 百万円

C

0 百万円

D

0 百万円

効果促進事業費の割合
C / (A+B+C+D)

0.0%

交付対象事業

A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											R2	R3	R4	R5	R6				
A-1	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(1) 湯川飛行場線	L=0.5km	北九州市						952	-		
A-2	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(2) 曾根223号線	L=1.5km	北九州市						387	-		
A-3	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(主) 恒見朽網線 (6号線)	L=3.1km	北九州市						4,294	-	R3よりR5迄分岐、R3～移行	
A-4	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	下曾根駅前線	L=0.4km	北九州市						103	-	R4よりP11へ移行	
A-5	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	戸畑枝光線 (戸畑ランプ～牧山ランプ)	L=1.6km	北九州市						974	-	R5より個別補助へ移行	
A-6	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	汐井町牧山海岸線	L=0.8km	北九州市						4,026	-	R6よりP3へ移行	
A-7	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	砂津長浜線	L=0.9km	北九州市						2,378	-	R5よりP3へ移行	
A-8	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	城山西線	L=0.7km	北九州市						40	-		
合計																13,154			

B 関連社会資本整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											R2	R3	R4	R5	R6				
合計																0			

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											R2	R3	R4	R5	R6		
合計																	

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											R2	R3	R4	R5	R6		
合計																	

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

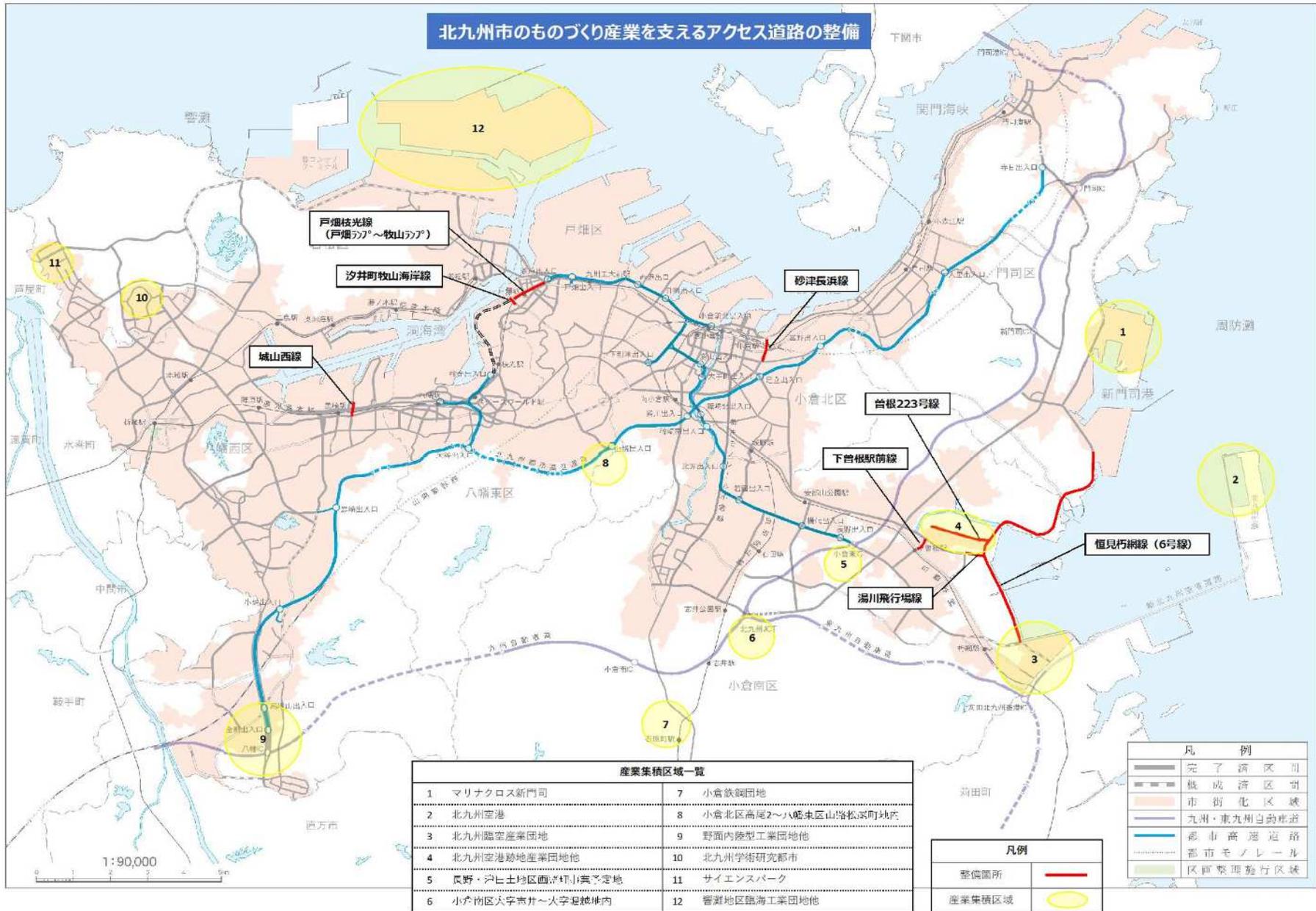
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	2,583	1,894	887	554	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	2,583	1,894	887	554	
前年度からの繰越額 (d)	1,545	1,212	737	395	
支払済額 (e)	2,916	2,370	1,229	790	
翌年度繰越額 (f)	1,212	737	395	159	
うち未契約繰越額 (g)	896	305	270	91	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	21.7%	9.8%	16.6%	9.6%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	先行工事の調整に不測の日数を要したため		関係者協議に不測の日数を要したため		

(記載例) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	1 北九州市のものづくり産業を支えるアクセス道路の整備		交付対象	北九州市
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)			



社会資本整備総合交付金チェックシート

計 画 の 名 称 : 1 北九州市のものづくり産業を支えるアクセス道路の整備

都道府県・市町村名: 北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
1) 上位計画等との整合性	○
2) 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
1) 整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
2) 定量的指標の明瞭性	○
3) 目標と事業内容の整合性	○
4) 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
1) 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
2) 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○